

# 剣道 居合道 杖道 審査会申込書

加盟団体No		加盟団体名		申込日 令和 年 月 日							
31		熊谷		審査会場				審査日時		1日目 2日目	
受審項目を○で 囲んでください		審査会場						審査日時		1日目 2日目	
初	二	三	四	五	六	七	八	錬士	教士	再審	実技合格月日
										形	学科
全剣連番号		現段級位受領年月日		現段位登録申請県名		錬士受領年月日					
		昭平令 年 月 日									
氏名		旧姓		性別		生年月日		年齢			
刀がナ				男		大					
氏名				女		昭平					
〒		住		所		電話		番号			

職業番号を○で囲んでください

1 中学生	2 高校生・大学生・専門学校等	3 警察官	4 自衛官
5 教員	6 公務員	7 会社員	8 自営業
9 団体職員	10 主婦	11 その他	12 無職
学校名		学年	下部団体名

学校名、学年欄は中学生・高校生・大学生・専門学校生のみ記入して下さい。

## 加盟団体控え

申込日 令和 年 月 日

刀がナ		審査日時											
氏名		審査会場											
受審項目を○で 囲んでください		初	二	三	四	五	六	七	八	錬士	教士	再審	
												形	学科
〒		住		所		電話		番号					
学校名		学年		下部団体名									

キリトリ

## 受講者確認票 (本人控え) ※申込みの際に切り取り、当日記入して、持参する。

段位 ○をする 初・二・三	氏名	住所	当日の検温
男・女		電話番号	

受審者は受審日に自宅で検温をし、37.5度以上ある者は受審できません。(会場でも検温実施)  
受審者確認票は当日受付に提出する。

## 「審査会申込書」記入上の注意事項

- ※ 下記の注意事項に従い、記入もれや誤記がないよう、証書で確認し、かい書で丁寧に記入してください。誤記があると、合格者全員の証書の交付が大幅に遅れます。
- ※ 審査会申込書は、各自の所属する加盟団体の受付要領に従い、加盟団体へ提出してください。
- ※ 個人情報保護法への対応について  
申込書に記載される個人情報(登録県名、称号、段位、漢字氏名、仮名氏名、年齢、生年月日、住所、電話番号、職業等)は(財)全日本剣道連盟及び(公財)埼玉県剣道連盟が実施する審査会運営のために利用します。なお、登録県名、氏名、年齢等の最小限の個人化情報は必要の都度、目的に合わせ公表媒体(掲示用紙、ホームページ、剣窓等)に公表することがあります。更に、剣道の普及発展のためマスコミ関係者に必要な個人情報を提供することがあります。
- 1 審査会申込書 受審する項目(剣道、居合道、杖道)を○で囲む。
  - 2 申込み日時 申込書を各加盟団体に提出する月日を記入する。
  - 3 加盟団体N o 下記の加盟団体の整理番号を記入する。

1 草加	6 杉戸	11 行田	16 川越	21 川口	27 大宮	32 深谷	37 警察
2 八潮	7 久喜	12 所沢	17 飯能	23 蕨	28 上尾	33 寄居	38 高校
3 越谷	8 幸手	13 東入間	18 西入間	24 戸田	29 鴻巣	34 本庄	39 居合道
4 吉川	9 加須	14 狭山	19 東松山	25 朝霞	30 北本	35 秩父	40 大学
5 春日部	10 羽生	15 入間	20 小川	26 浦和	31 熊谷	36 小鹿野	41 杖道
  - 4 加盟団体名 上記の加盟団体名を記入する。
  - 5 受審項目 受審しようとする、初段～八段、錬士、教士、再審のいずれかを○で囲む。再審は、形、学科のいずれかを○で囲み実技合格年月日を記入する。審査会場、審査日時項目は受審者すべてが記入する。審査日時1日目、2日目の項目は、八段受審者のみ希望の日を○で囲む。
  - 6 全剣連番号 現段位の証書に記載された全剣連番号を記入する。誤記入、記入もれが多いので注意する。現段位を他県で登録申請した者は、特に注意する。初段受審者は記入しない。
  - 7 現段級位受領年月日 現段級位の証書に記載された年月日を和暦で記入する。現段位受有後、下記規定の修業年数に満たない者は受審できない。

初段 一級受有後30日以上で、 受審日に満13歳以上の者	五段 四段受有後4年以上修業した者
二段 初段受有後1年以上修業した者	六段 五段受有後5年以上修業した者
三段 二段受有後2年以上修業した者	七段 六段受有後6年以上修業した者
四段 三段受有後3年以上修業した者	八段 七段受有後10年以上修業し、 年齢46歳以上の者
  - 8 現段位登録申請県名 初段受審者は記入しない。登録申請をした県名を記入する。東京都の場合は、区まで記入する。
  - 9 錬士受領年月日 教士受審者のみ記入する。錬士の証書に記載された年月日を和暦で記入する。
  - 10 錬士、教士受審資格 錬士 六段受有後1年以上経過した者。  
教士 錬士受有者で、七段受有後2年以上経過した者。  
埼玉剣連派遣講師の講習を年度内に2回以上受講していること。  
剣道手帳の「講習会参加確認印ページ」上部に氏名を自筆し、A4版でコピーを取り、審査会申込書の裏面にのり付けする。
  - 11 氏名、住所 振り仮名は片仮名で記入する。生年月日は和暦で記入する。  
年齢は受審日を起算とする。  
旧姓は現段位の証書に記載されている姓を変更する場合のみ記入する。
  - 12 職業欄 該当する職業の番号を○で囲む。  
1, 2に該当する者は学校名、学年を記入する。
  - 13 下部団体名 活動している○○道場、○○剣友会、○○スポーツ少年団、学校名、等を記入する。
  - 14 加盟団体控え 審査会申込書に記入した項目と同じ事項を記入する。